



株式会社 Aoba-BBT 代表者●代表取締役社長 柴田 巖
 設立●1998年 資本金●18億1800万円 従業員数●702人 住所●東京都千代田区六番町1-7
 Ohmae@workビル その他拠点●東京都千代田区二番町3 麹町スクエア1F
 ネットワーク●ビジネス・ブレイクスルー大学・大学院(文部科学省認可)、BOND-BBT MBA (EQUIS、AACSB 認証)、ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック、アオバジャパン・インターナショナルスクール(国際バカロレア認定、CIS、NEASC 認定)等 メディア●<https://aoba-bbt.com/>

連絡先 TEL●03-5860-5537(営業企画部) E-mail●solution@bbt757.com
 サービス グローバルに活躍するビジネスリーダーを育成するための実践的・問題解決型教育の提供
 ●企業研修(エグゼクティブ研修、DX時代の次世代リーダー、自立型社員の育成、リスクリング支援)
 ●新規事業開発支援(プロ人材によるメンタリング、新市場への参入、イノベーション人材育成、風土改革)
 ●教育機関の運営(インターナショナルスクール、大学・大学院、海外MBA)

専門分野	
業種	対象者
全業種	経営者・役員 事業責任者
職種	マネジャー
全職種	中堅 若手 新卒 外国人 海外現地人材 中高年

編集部
の
評価

1998年の設立時からオンラインでビジネス教育を提供している。すべてのコンテンツ企画会議に創業者の大前研一氏が参加し、日本や世界を代表する一流の経営者や起業家が講師を務めているため、変化の激しい時代に必要な事業構想力を身につけることができる。次世代経営人材に関する確かな知見と豊富な研修実績から企業の厚い信頼を集め、年間1000社以上の人材育成を支援している。

責任者に聞く 強み 仕組み 方針

「大前研一監修の高品質なコンテンツで次世代経営人材の育成を支援しています」

経営人材に必要な新しいビジネスモデルを設計する「構想力」を鍛える

当社は1998年に大前研一が創業し、2005年には日本初のオンライン大学院大学を開設しました。グローバルに活躍する人材の輩出に取り組み、社会人を対象とする「リカレント事業」で注力しているのが「次世代経営人材育成プログラム」です。経営の基礎力を習得するとともに、戦略的な思考を醸成していくことを目的に、これからの経営を担う役員候補や部長候補、若手ポテンシャル人材を計画的に育成していく取り組みを支援しています。

プログラムの特徴は、経営人材に必要な新しいビジネスモデルを設計する「構想力」を鍛えることです。構想力の土台となる「問題発見/解決力」「経営者の思考力」「業種

横断的思考力」を20～30代で学び、40代では構想力の強化に重きを置き、能力やマインド、視点視座を高めます。

「BBT 経営塾」や各社の課題に合わせたプログラムで年間1000社以上を支援

他流試合型の「BBT 経営塾」は大前研一を塾長として、課長層以上の次期経営幹部候補を対象とする公開講座型の1年間のオンラインプログラムです。映像講義の視聴や読書でインプットをし、得られた示唆を活かして講師や受講者同士で議論したり、実在する企業をテーマとするケース演習によって思考力や構想力を磨きます。20年以上の実績があり、受講者は年間300人弱、延べ4000人以上となっています。

各社の課題に合わせてカスタマイズしたコンテンツも提供しています。例えば、ビ

政元 竜彦

取締役副社長



大手総合商社にて、主にオセアニア地区の植林、木材加工事業に従事。約4年にわたる海外駐在時には、海外事業のマネジメントを経験。Aoba-BBT(当時はビジネス・ブレイクスルー)入社後は、編成制作局長として、全コンテンツの企画立案、制作に関与。経営塾受講生に対してセミナー講師も務める。慶應義塾大学経済学部卒業。

ビジネスリーダー向け課題解決プログラムでは、約8000時間の講義の中から必要な内容を学べるeラーニングと集合研修などを組み合わせます。こうした高品質で豊富なコンテンツを通じて年間1000社以上を支援し、「成果を実感できた」という声をいただいています。

変革が求められる企業の人材育成にノウハウとソリューションを提供

変革が求められる企業にとって、構想力を持つ経営人材の育成がこれまで以上に大きな鍵となってきています。当社は、経営人材を育成するノウハウとソリューションを有しているだけでなく、社内の新規事業創出を推進するために外部のメンターとのマッチングサービスも開始しています。次世代経営人材育成ニーズの高まりに一層応えられるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

●経営人材育成のポイントとなる「構想力」

